

としょかん南アルプス



南アルプス市立図書館通信 No.38 2018年2月1日発行 <http://m-alps-lib.e-tosho.jp/>

図書館朗読ボランティア

指導者

戸栗すずこ

とぐり すずこ

今は都庁を中心に高層ビルが立ち並び新宿西口付近が、私が少女時代を過ごした故郷です。当時は戦時下を生きること懸命で、私も本とは無縁の生活を送っていました。それでも、出征した兄の本棚から分厚い文学全集を手に取り、わからないなりにページを繰ったことを覚えています。

父が早く亡くなり、兄と姉も戦争で亡くしました。東京で終戦後の生活に不安を感じていた時、知人の紹介で、山梨に移住することになりました。今でも、山梨に着いた日の安堵感と、初めて食べた甲州ぶどうの甘酸っぱい味を忘れることができません。

その後、自立を目指して、師範学校の予科から山梨大学へと進みました。予科時代には、作家の林真理子さんのお母様が営んでいた小さな本屋に通い、中原淳一が描く少女雑誌『ひまわり』の世界に胸をときめかせたものです。

大学生の頃は、鷗外、漱石といった明治・大正期の文豪の作品から、江戸川乱歩が描く推理小説の世界まで幅広く、むさぼるように書物にふれました。アルバイトや映画、演劇に熱中し、まさに青春を謳歌した時代です。

社会人としては、理科の教員として榎原中学校からスタートし、結婚を機に若草地区に移り住みました。若草中学校・甲西中学校と30年に及ぶ教員時代を過ごしましたが、以前からかかわっていた国際ボランティア活動を本格的に行うため、教員生活にピリオドを打ちました。



<マニラにて 60才の頃>

活動を通して、マニラでマザー・テレサと出会い、日本における障がい者の立場に気づきました。このことが、山梨ライトハウスで、視覚障がい者のための朗読をはじめたきっかけです。当然、読書の幅も広がり、本の種類も増えました。

今では朗読を指導する立場にありますが、改めて考えてみると、私の傍らには、いつも本があり単に本から知識を得るだけでなく、生きる支えにもなっていました。そして、本を通じて、多くの人々とのふれあいの場を与えてもらえることに感謝しています。



私の 読書 歴

私が出会った本

『ころ』

夏目漱石/著

『大地の子』

山崎豊子/著

『大河の一滴』

五木寛之/著

第4回

写真集『建設第二年の満州國四道河開拓團』

保存修復・デジタル化

— 図書館は、「過去」・「現在」を「未来」につなぎます —

図書館では地域に残る歴史的な資料を収集しています。
また、その中でも特に貴重な資料については、修復・デジタル化して保存に努めていきたいと考えています。

今回初めての試みとして、写真集『建設第二年の満州國四道河開拓團』の修復・デジタル化を行いました。

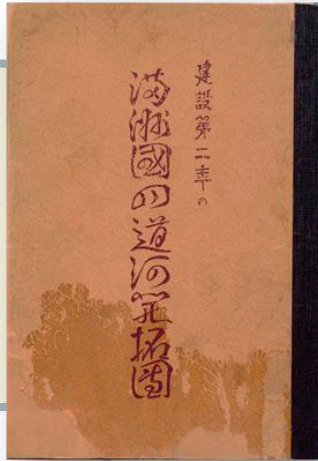
この写真集は、豊村（南アルプス市櫛形地区）から満州に渡り、終戦後に集団自決した満州國四道河開拓團の、開戦前の日常生活の記録で、当時の様子をうかがい知ることができる、大変貴重な資料です。

名取茂子さん（開拓団長・名取美朗さんの妻）が大切に保存し、息子の義晃さんへ受継がれたものを、「後世に伝えるために」図書館へと寄贈していただきました。

このたび、資料の染みや固着の除去、脱酸性措置、補修などの修復作業が完了し、データ化したことから多くの方にご覧いただけるようになりました。

ぜひ、このような図書館の資料から、ふるさとの歴史について知っていただければと思います。

写真集より



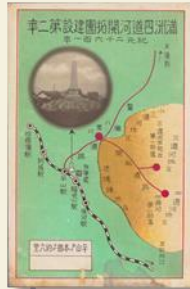
【昭和16年10月刊行】

豊村

満州國四道河開拓團

豊村（南アルプス市櫛形地区）からは、政府の満州（中国東北部）開拓計画に応じ、百数十人が満州に入植した。

終戦直後、日本の支配に対する反動から、盗賊や農民に攻め込まれ、終戦2日後の昭和20年8月17日、旧満州四道河の開拓団本部の建物でダイナマイトを使って集団自決し、約140人が亡くなった。



↑満州四道河周辺地図↓



↑共同洗濯場の主婦達↓



↑トラック班運搬作業↓

図書館講演会 落合恵子さん『いのちの感受性・一行の言葉に立ち止まる時』



11月25日に行われた落合恵子さんの講演会には300人を超える方々にご来館いただきました。

参加者のみなさんからは、「生きる力をもらった」「素晴らしい会だった」などの声も多く寄せられました。

図書館では、これからもさまざまな行事を企画していきます
ぜひ、ご参加ください！！

大好評



落合さんのおちゃめな一面も！
顔出しパネルでライライと！

中央図書館(055-280-3300) 中央図書館芦安分館(055-282-7285) 白根桃源図書館(055-284-6010)
八田ふれあい図書館(055-285-5010) わかくさ図書館(055-283-1501) 甲西図書館(055-282-7291)